

計画事業番号	00836	事務事業名	議会広報事業	担当部署	議会事務局	電話	734
--------	-------	-------	--------	------	-------	----	-----

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市議会広報発行に関する条例			
事務事業開始年度	昭和58年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第5章) 快適な生活環境のまち						
	(第9節) 情報公開・広報広聴の充実						
	(施策4) 広報広聴活動の充実						
2 対象							
3 目的と内容	定例会等での一般質問や代表質問の答弁及び各議案の審議の状況など、市議会の活動概要を広報紙及びインターネット中継で市民に周知する。						
4 実施内容(手段)	27年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりの発行(通巻1~132号) 議員による議会広報編集委員会を組織し、議員自ら編集を行っている。 議会だよりの発行 年4回 1回12ページ、24,000部印刷 印刷製本費 2,209千円 新聞折込等手数料 899千円 議会中継の実施(平成23年6月から) インターネットを利用し、本会議及び予算・決算特別委員会の中継を行っている。 議会中継インターネット接続料 83千円 					
	28年度	<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりの発行(通巻133~136号) 議員による議会広報編集委員会を組織し、議員自ら編集を行っている。 議会だよりの発行 年4回 1回12ページ、24,000部印刷 印刷製本費 2,209千円 新聞折込等手数料 899千円 議会中継の実施 インターネットを利用し、本会議及び予算・決算特別委員会の中継を行っている。 議会中継インターネット接続料 83千円 議会中継システム導入の検討~先進地視察(札幌市) 					

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
議会だよりの発行議会中継の実施(本会議、決算審査特別委員会、予算審査委員会)	議会だよりの発行年4回(12ページ3回、8ページ1回) 1回につき24,000部印刷 議会中継の実施(本会議、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会)	議会だよりの発行 議会中継の実施 議会中継システム導入の検討	議会だよりの発行 議会中継システムへ移行 新庁舎完成に併せ委員会中継を開始	議会だよりの発行 議会中継システムによる議会及び委員会中継の実施

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	平成29年度から新庁舎建設に併せ議会中継システムを導入し、本会議及び委員会中継を実施する。【2016推進計画にて拡大】	
2次評価	現状継続	現状継続とする。【2016推進計画にて拡大】	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			3,164	3,177	4,269	4,367
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	3,164	3,177	4,269	4,367
	① 合計		3,164	3,177	4,269	4,367
	人件費	② 人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	900	900	900	900
総事業費①+④		4,064	4,077	5,169	5,267	

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 議会広報編集委員会開催回数	目標値	16	16	16	16
		実績値	16			
	② 発行回数	目標値	4	4	4	4
		実績値	4			
③ 発行部数	目標値	24000	24000	24000	24000	
	実績値	24000				
④ インターネット中継アクセス数(述べ件数)	目標値	32000	41000	50000	60000	
	実績値	37381				
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
【指標の定義(算式等)】	実績値					
③	目標値					
【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	議会だよりは議員自らが主体となって編集を行っていることから、市議会の活動概要を周知するための有効な手段であり、妥当性は充分にあると考える。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	議会だよりは、すでに新聞折込等による配付が確立しているが、新たに市内の医療機関、金融機関などへの配付も実施し、またHPでも公開をしている。議会のライブ中継によって審議状況等を発信している。以上のことから市民への周知方法としての成果はあがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	平成29年度から委員会中継を実施することで、今まで以上に議案の審議状況などの周知が可能となる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	事業に係る経費は議会だよりの印刷製本費、新聞折込手数料及び議会中継のインターネット接続経費であり、コスト削減の余地はないものとする。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	---	------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。